

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会

SCAR 小委員会(第 26 期・第 5 回)

IASC 小委員会(第 26 期・第 6 回)

議事要旨

1. 日 時 令和7年 11 月 20 日(金)13:00~15:00

2. 会 場 オンライン会議(ZOOM)

3. 出席状況(名簿順、敬称略、*SCAR・IASC 兼)

出席者(SCAR):中村卓司*、原田尚美*、伊村 智、榎本浩之*、金尾政紀、柴田明穂、
杉山 慎、高橋晃周、高橋邦夫、津川卓也、中井直正、橋田 元、平譚 享、
道田 豊

出席者(IASC):飯島慈裕、内田雅己、大西富士夫、川合美千代、菊地 隆、竹内 望、
當房 豊、八田真理子、檜山哲哉、深町 康、箕輪昌紘、矢吹裕伯、
吉森正和

出席者(オブザーバー):久光純司(気象庁)、森下泰成(海上保安庁)、猪上 淳(極地研)、
末吉哲雄(極地研)、田村岳史(極地研)、安藤とも枝(極地研)

欠席者(SCAR):大野義一郎、小山内康人、川村賢二、野木義史

欠席者(IASC):高倉浩樹

欠席者(オブザーバー):菅井秀翔(国土地理院)、下野隆洋(国土地理院)

4. 議 題

冒頭、IASC 小委員会榎本委員長より挨拶があり、今回の合同小委員会は SCAR 小委員会の中村委員長が議長を務めることとした。続いて議題(1)以下の進行は SCAR 小委員会伊村副委員長が務めた。

(1)5th International Polar Year (IPY) in 2032-33 への対応について

IPY について下記のような情報交換、現状そして今後の活動について議論が行われた。

1. 金尾委員により IPY4 のレビューが行われた。

2. IPY5 関連各種アップデート情報

2.1. 末吉オブザーバーより、IPY5 の HP の報告があった。

2.2. 末吉オブザーバーより、IPY5 エンドースメントの選考プロセスについて説明があった

2.3. 日本としての関与方法

2.3.1. 榎本委員より、IPY5 に関して、IPY5 に対する国としての関与方法として、国内委員会を設置が要請されていることの説明があった。

2.3.2. 田村オブザーバーより、IPY5 日本国内委員会の構成案として、SCAR および IASC 小委

員会委員をメンバーとして、代表を極地研南極観測センター長及び北極観測センター長とし、運営の主体組織を極地研で担うことの提案があり、了承された。

- 2.4. 榎本委員より、Arctic Circle Assembly におけるIPY5 に関わる話題の報告があった。
- 2.5. 伊村委員より、AFoPS のIPY5 に関する活動の報告があった。
- 2.6. 末吉オブザーバーより資料3により Arctic Science Funders Forum からの報告があった。
- 2.7. 平譚委員より、Antarctica InSync についての情報提供があった。
- 2.8. 柴田委員より、SCAR 人文社会科学常設委員会についての報告があった。

(2) その他

- 3.1. 田村オブザーバーより、IPY5 日本事務局の計画について紹介があった。

その他、金尾委員より資料4により極域データフォーラムについて、道田委員よりUNESCO及びIOCの活動について、末吉オブザーバーよりPEIについて、榎本委員より前回IPYがきっかけとなったものとしてPEIに加え、SAON、APECS、IPYとの協働が検討されているUNDACSなどについての情報提供があった。

4. 配布資料

資料1:IPY4 について

資料2:IPY5 WEBについて

資料3:ASFFについて

資料4:極域データフォーラムについて